

令和元(2019)年度 「本校の教育活動及び学校運営に関する保護者アンケート」 集計結果

栃木県立栃木特別支援学校

1 アンケート内容及び集計結果

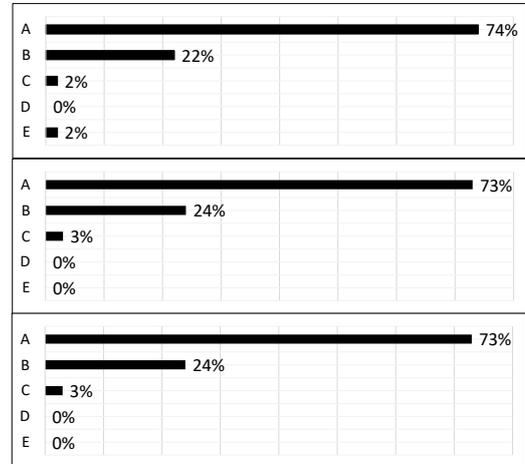
評価項目	A:よく当てはまる
	B:やや当てはまる
	C:あまり当てはまらない
	D:全く当てはまらない
	E:わからない

回	配布数	256
答	回答数	225
率	回収率	88%

平成30年度
回収率 90%

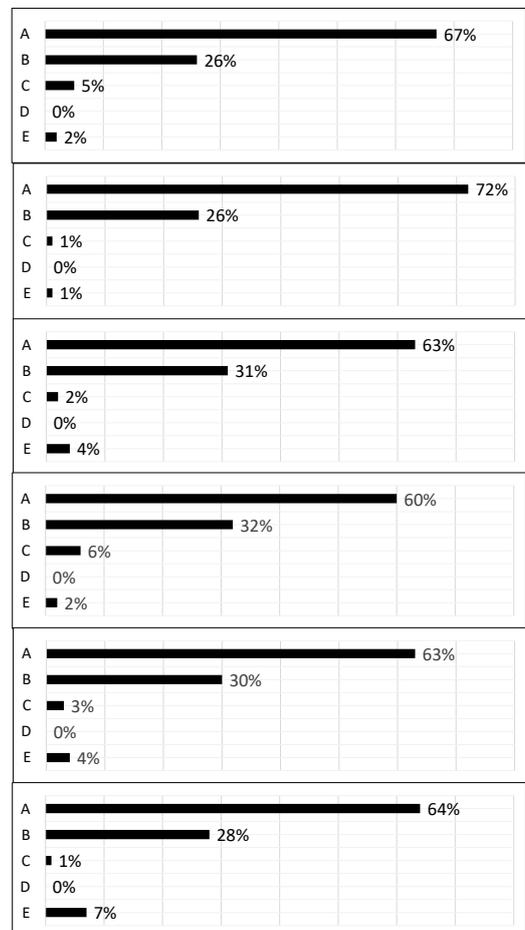
◇ 個々のニーズに応じた学習指導の充実に関すること

- (1)学校は、教育目標や指導方針、部門・学部の教育課程及び重点目標について、保護者会等で分かりやすく伝えている。
- (2)学校は、児童生徒の実態や特性、課題を的確に把握し、具体的な指導内容・方法等について、保護者との話し合いを十分にを行った上で、児童生徒の目標を設定している。
- (3)学校は、個別の指導計画に基づいて指導を行い、成果と課題を見極め、指導内容・方法の改善・充実を図っている。



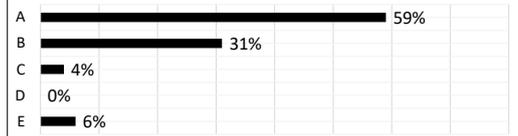
◇ 自立と社会参加に向けた教育の推進に関すること

- (4)学校は、児童生徒一人一人の実態やニーズに応じた社会経験の拡大を図る指導をしている。
- (5)学校は、教職員が挨拶を実践し、児童生徒一人一人の発達段階や、生活年齢に応じた挨拶の指導を行っている。
- (6)学校は、児童生徒一人一人の発達段階や特性に応じて、小学部段階からの様々な体験活動や、作業学習、就業体験学習、校内実習、産業現場等における実習等、自立と社会参加に向けたキャリア教育や職業教育の充実を図っている。
- (7)学校は、児童生徒の実態や特性、生活年齢に応じた進路に関する情報を、児童生徒や保護者に対して提供している。
- (8)学校は、児童生徒が経験を広め、豊かな人間性を養い、地域での自立や社会参加を促すための、交流活動（学校間交流、居住地校交流、地域交流等）の充実・拡充を図っている。
- (9)学校は、児童生徒に対して、友達を思いやる心を育み、いじめを許さない・いじめを起こさない行動ができるよう、発達段階に応じた指導を行っている。

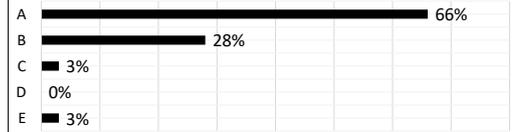


◇ 保護者・地域・関係機関との連携に関すること

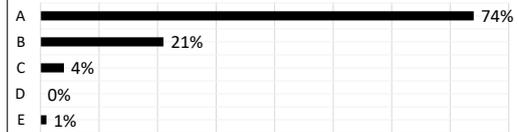
(10)学校は、保護者や地域等外部の人々の意見に耳を傾け、学校運営に生かしている。



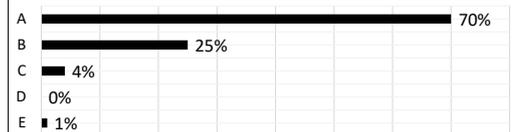
(11)学校は、P T A 活動に協力し、児童生徒のためのよりよい環境づくりに努めている。



(12)学校は、様々なたより（学部だより、健康教育・食育・進路指導・人権教育・交流教育・地域支援等に関する情報等）を配布・校内掲示し、本校教育に関する情報を保護者や来校者に分かりやすく伝えている。



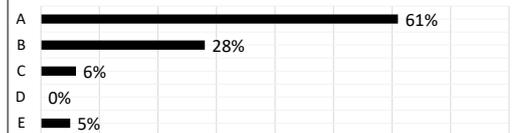
(13)学校は、学校行事（運動会等）（分教室：学習発表会）を児童生徒の学習の成果を発表する場として生かしている。



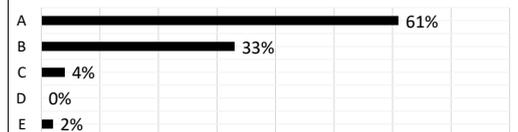
(14)学校は、学校行事、授業や交流活動等の様子を随時紹介し、開かれた学校づくりのため、ホームページの管理運営を行っている。



(15)学校は、充実した体験学習や教育相談・研修会・ボランティア育成を行い、児童生徒の就学や地域の特別支援教育の充実を図っている。



(16)学校は、入学時から卒業後までの長期的な視点で福祉、医療、労働等の関係機関と一貫した支援を行うため、保護者と一緒に「個別の教育支援計画」を作成している。また、必要に応じて保護者と協力し、関係機関との連携や支援要請を行っている。

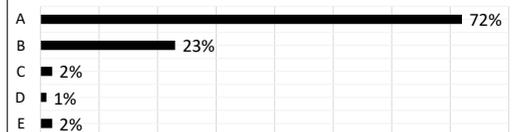


◇ 安全・安心、信頼される学校づくりに関すること

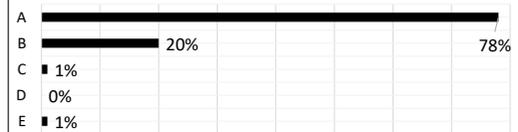
(17)学校は、児童生徒のけがや感染症の予防、事故の防止、災害への備え等、安全確保への配慮や危機管理を行っている。



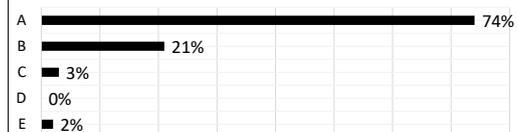
(18)学校は、けがや感染症の予防、事故の防止、災害時の対応など、児童生徒自身が危険を予測し、回避することができるよう指導している。



(19)学校は、ホームページの掲載や各種たより等の作成・配布に際して、個人情報の保護に十分配慮している。

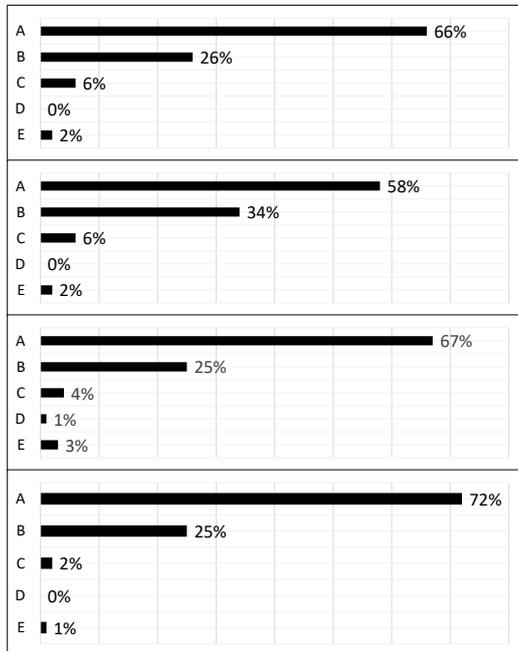


(20)学校は、児童生徒にとって「楽しい学校」、保護者や地域の方々にとって「安心して信頼できる学校」として、日々教育活動に取り組んでおり、本校に子どもを通わせて、良かったと思われる学校である。



◇ 社会性の育成に関すること（今年度の重点目標）

(21)お子さんは、自分のできる方法（動作、表情、発声、サイン、カード、言葉など）で意思表示やコミュニケーションをとることが増えてきている。
(22)お子さんは、集団での活動において、見通しをもって落ち着いて取り組んでいる。
(23)お子さんは、友達や教師、交流校生など、様々な人と関わり、集団の中で楽しく学校生活を送っている。
(24)学校は、友達や教師との関わりや人とのやりとりについて、お子さんの様子を丁寧に伝えている。



2 考察及び今後の課題

(1) 集計結果

- ・全項目において、AとBを合わせ89～98%の高い評価をいただきました。
- ・AとBを合わせて90%以上の高い評価を得た項目は、全24項目中23項目です。
- ・A+Bで95%以上の高い評価を得た項目は、次の項目です。

項目(1)教育目標や指導方針、教育課程、本校の重点目標についての情報提供(96%)

項目(2)保護者との十分な話し合いを行った上での目標設定(97%)

項目(3)個別の指導計画に基づく指導及び指導内容・方法の改善・充実(97%)

項目(5)教職員の挨拶の実践と児童生徒への挨拶の指導(98%)

項目(12)様々なたよりや校内掲示物による情報発信(95%)

項目(13)学校行事をととした児童生徒の学習の成果の発表(95%)

項目(17)けがや感染症の予防、事故の防止、災害への備え等危機管理(97%)

項目(18)児童生徒自身が危険を予測し、回避するための安全教育(95%)

項目(19)個人情報の保護 (98%)

項目(23)様々な人との関わり、集団での楽しい学校生活

項目(24)学校での人との関わり、やりとりの様子に関する説明・報告

(2)課題

E評価(わからない)や無回答の項目がいくつか見られました。保護者会や懇談会、各種たよりをとおして本校の教育活動に関する丁寧な説明を行い、より一層の御理解を得られるようにしていきたいと考えます。本校教育活動への共感や改善に向けての様々な御意見をいただきましたことに深く感謝申し上げます。学校全体で真摯に受け止め、よりよい学校づくりに活かしていきたいと思っておりますので、今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

台風19号による浸水被害により休校を余儀なくされました。復旧作業に対する励ましや労いのお言葉をいただき、ありがとうございました。